

山の井たかし後援会だより

5

山の井たかし活動報告

- 6月26日 市議会報告会（於：富士通小山工場）
- 7月 8日 外城地域環境整備協議会
- 16日 小山市環境審議会
- 17日 寺野東遺跡ガイダンス工事起工式
- 18日 議会合併問題研究会
- 22日 小山市生涯学習推進協議会
- 8月20日 議員全員協議会
- 25日 県南5市議長会研修会（於：真岡）
- 28日 議会活性化委員会視察
- ①佐野市議会（議会テレビ放映）
- 30日 小山市総合防災訓練（於：市役所駐車場）
- 9月 4日 9月定例議会開会
- 17日 総務常任委員会
- 18日 ジャズ喫茶『思川カフェ』オープニング
- 24日 小山市生涯学習推進協議会
会派視察
- ②東野田大川用水路
- ③野木糞尿処理センター
- 26日 9月定例議会閉会
- 29日 神明町自治会敬老祝賀会
- 10月 5日 泉崎運動会
- 14日 ・小山市長、助役及び収入役の給与の特例に関する
条例の制定について
・小山市市制50周年記念事業（案）について
- 17日 小山二中合唱コンクール
- 19日 『まちかど美術館』オープニング
- 22日 小山クリーンセンター施設見学
- 30日 外城地域環境整備協議会
- 31日 小山市環境審議会
- 11月 1日 小山二小文化祭
小山市農業祭
- 2日 健康都市小山フェスティバル
リサイクルフェア
- 6日 戦没者追悼式
- 11日 総務常任委員会視察
- ～13日 近江八幡市『コンプライアンス条例』
豊中市『庁内地図情報システム』



佐野市議会



大川用水路



野木糞尿処理センター

- 14日 臨時議会
 - ・小山市職員の給与に関する条例の一部改正について 他
- 議員全員協議会
 - ・小山市生活安全に関する条例及び小山市生活安全に関する条例施行規則の制定について
 - ・小山市環境美化条例及び小山市環境美会条例施行規則の制定について
- 15日 泉崎自治会文化祭
- 中央福祉医療専門学校文化祭
- 19日 市政報告会（於：栃木富士通テン）
- 25日 八幡宮例大祭
- 26日 富士通労働組合友の会ボウリング大会
- 27日 小山市立生涯学習センター視察
- 29日 小山市消防団通常点検
- 12月 1日 12月議会開会
- 議員全員協議会
 - ・足利銀行破綻に係わる小山市の対応について
- 4日 山の井たかし市政一般質問
- 10日 栃木富士通テン市政相談
- 11日 総務常任委員会
- 12日 消防団第4分団慰労会
- 16日 エコライフ・プラン市民大会拡大委員会
- 17日 小山ネットワークス協議会
- 18日 12月定例議会閉会
- 議員全員協議会
 - ・足利銀行破綻に関する小山市の対応（近況報告）について
 - ・小山駅東口新都市整備事業について
 - ・小山中学校における器物損壊事件について



9月定例議会（9月4日～26日）

9月4日から26日の日程で、9月定例議会が開催されました。

平成14年度決算の認定など多くの議案が上程されました。厳しい財政状況の中で、流用による歳出が非常に多いことから、今後は流用を極力減らし、健全な財政運用を心がけることを要望し、全議案を可決しました。

主な議案

- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ・小山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
- ・財産の取得について（消防自動車 他）
- ・団体営土地改良事業の施工について（農道整備）
- ・栃木県都市競輪組合の解散について
- ・教育委員会委員の任命について
- ・専決処分の報告について

12月定例議会（12月1日～18日）

12月1日から18日の日程で、12月定例議会が開催されました。

平成15年度一般会計・特別会計補正予算、小山市生活安全に関する条例の制定、小山市環境美化条例の制定など多くの議案が上程され、活発な議論の結果、全議案が可決されました。

市政一般質問要旨

財政について

《平成16年度予算編成の基本的な考え方について》

平成15年度の一般会計は、当初予算で前年度比－7億3千万円である。その中でも市税については、前年度比－16億5千万円と大きく減少となった。また、市債については3年連続で増加であり、その額も52億を超えている。

平成16年度主要新規事業として、小山駅東新未来都市創造土地地区画整理事業、美田中学校校舎改築事業、道の駅・（仮称）都市と農村交流センター整備事業、小山駅東口エスカレーター設置事業などとなっている。平成16年度予算の編成の基本的な考え方について伺いたい。

《答弁要旨》高山企画財政部長

平成16年度収入見込みでは、個人市民税は落ち込むものの法人市民税が増加する見込みであることから、平成15年度並みの237億円程度を見込んでいる。各種交付金及び地方交付税で約50億円程度、国・県支出金を約72億円程度、市税については一般会計債が約41億円程度、臨時財政対策債を約26億円程度で、平成16年度の予算規模を平成15年度比102.3%の503億円程度と見込んでいる。市税の確保と、国・県補助金の積極的な活用など財源の確保に努める。また、経常経費の縮減として、人件費、扶助費、公債費、補助費などに具体的な目標値を設定するほか、県内12市中で最低の投資的経費の回復・確保を図る目標値を設定して、健全化を推進する。

教育行政について

《小山第二小学校こぶしの広場整備状況について》

旧市街地では少子化が一段と進んでおり、第二小学校の使用していなかった一号館がこぶし広場の整備事業として本年7月から、取り壊された。校庭も広くなり明るくなったように感じる。取り壊しだけというわけにはいかないと思うので、その跡地についての利用方法の内容とこれまでの経過について伺いたい。

《答弁要旨》山谷教育次長

こぶしの広場の整備にあたりましては、学校・PTA・地域の方々のご意見をいただきながら進めており、現在、市内小学校27校で唯一100mコースがなかった小山第二小学校にも、1号館校舎解体に伴い100mコースが確保され、子ども達が校庭を活発に利用している。今後の整備計画としては、屋外授業や青空休職・運動スペース・遊び場・地域との交流の場など多目的に活用する他、270㎡について校庭芝生化の実験ケースとして芝生化を行い、屋外トイレの建設などを計画している。

《市内小学校のゆとり教育の現状と今後の計画について》

学校週5日制の導入時の目的であった、ゆとり教育について、6月議会で教育長から生涯学習課を中心とした学校外活動の整備充実や、生涯学習センターや公民館などで実施している情報提供などについての答弁があったが、参加するかどうかは家庭に任されている。学童野球やミニバスケットなどに参加しているのは、ごく一部の子供たちであり、学校外活動についても、場所が遠すぎるなどの理由で、なかなか参加できないのが現実である。地元の小学校でゆとり教育活動があれば、参加する子供も増えると思うが。現在、市内の各小学校で実施しているゆとり教育について聞きたい。

《答弁要旨》山谷教育次長

平成11年度に小山第一小学校において補助事業として「おやま子ども未来活動」が行われた。これは、土曜日等の休日を利用して、子どもたちにボランティア体験活動として手話、自然体験活動として思川の生き物たちの観察、商工業体験活動として商店街訪問、歴史と文化を知る活動として市内の文化財探検などを行った。現在では、PTAが独自に学校とともに子ども未来活動として、料理・竹細工・手芸・ニュースポーツ等の事業を年6回実施している。現在、国からの補助は終了しているが、地域の自主性を尊重し今後も「おやま子ども未来活動」のような事業の支援について考えていきたい。

道路行政について

《市民病院へ接続する市道1145号線の安全対策について》

病院までの交通手段は自家用車、タクシー、自転車、徒歩、車椅子などである。来年には西市街地循環バスが本道を通る。本道は大変狭い道路であり、大変危険である。

拡幅について、現在までの取り組み、または計画はどうなっているのか伺いたい。

拡幅が無理であれば、市道1145号線を国道から病院方向への一方通行にすることは考えられないか。事故を未然に防止する意味でも必要であり、是非実現してもらいたい。

《答弁要旨》多田建設水道部長

この道路を拡幅整備するためには、沿道に住宅が密集しており、家屋の移転など、用地の確保が一番の問題であり、地権者の合意と多くの移転補償費が必要となるため財政面の課題がある。この道路を、計画道路幅員16mとして北側に拡幅した場合の試算では、事業用地が約5,000㎡必要になり、移転対象家屋が18戸で、事業費は概算で本工事費が約2億円、用地補償費が約13億円、合計で約15億円と試算した。事業化にあたっては、国土交通省道路局所管の国庫補助導入を考えているが、事業の着手については、現在の財政状況を考慮し実施時期などについて十分研究する必要がある。

《答弁要旨》岸市民生活部長

交通規制については県の公安委員会により決定されるので、市には決定権はないので、小山署では、事故抑止を優先に考えれば一方通行道路は良策と思うが、利便性を考えると難しいとのことであった。一方通行道路にするには、地域全員の同意を得ることと、代替の道の確保・距離的な問題も生じてくる。など、地域住民の同意が尊重されるわけで、警察としても、市全体を見て、交通規制が適当であるかどうか見定めなければならないとの回答であった。市としても、地元自治会ははじめ、各関係機関などと協議をし、検討していきたい。

《横断歩道における事故対策について》

市内では10月28日から11月4日までの間に3件の死亡事故が発生し、交通死亡事故多発小山地区警報が発令された。その中に、横断歩道を横断中の死亡事故があったが、当日は雨で、夕方の暗くなる時間帯と悪条件が重なり、歩行者が見えにくかったと聞いている。確かに、市内の信号のない横断歩道では街灯がなかったり、暗かったり、歩行者が見えにくい場所も多くある。運転手が歩行者を十分に確認できる程度の、明るい街灯を設置することはできないか、伺いたい。

《答弁要旨》岸市民生活部長

市としては、危険な場所があればそのつど対策を考えている。信号機のある交差点及び横断歩道、長大橋などでは、道路照明を設置している。今後も、横断歩道の安全管理を図るべく交通事故防止のために、施設等の設置を進める。今回の事故現場については、早急に街灯を設置するように手配済みである。

《駅前ロータリーのタクシー待機エリアの整備について》

小山駅西口広場は、タクシー乗り場と送迎車の乗降場所では、タクシー待機場所と、送迎車の乗降場所が明確な区分がない。身体障害者の乗降場所も確保されていない。歩行者も多く危険である。危険防止のために、タクシー待機場所を白線で囲うこと、送迎車の乗降場所を明記すること、身体障害者専用の乗降場所の確保について実施することはできないか。

《答弁要旨》多田建設水道部長

小山駅西口駅前広場の管理は、小山市・栃木県・JR東日本の三者である。タクシーの待機スペース、客待ちスペースはJR小山駅の管理で小山地区タクシー事業者協議会が、JR東日本から許可を受けて使用している。タクシースペース6台の部分に白線を引き、区割りするように要請をした。身体障害者のスペースもJRに要請し、検討するという回答があった。

山の井たかし後援会（会長：松島 儼）

編集責任者：村田利幸

〒323-8511 栃木県小山市城東3-28-1（富士通労組小山支部内）

電話：0285-24-2890

携帯電話：090-2632-8976（山の井たかし）

E-mail：yamanoi.takashi@jp.fujitsu.com